

レジェンドたちが表紙を飾った **BEAUTREC** の1980年 創刊

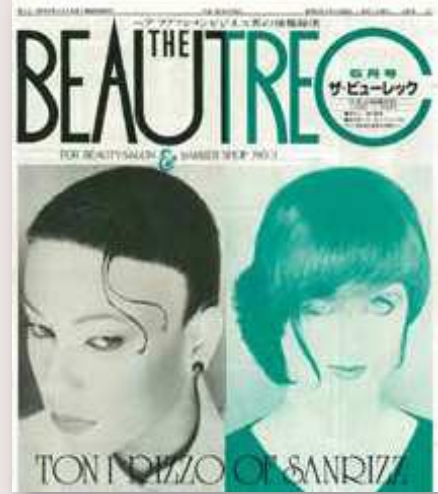
創刊から40周年をまもなく迎える「ザ・ビューレック」。その制作にはさまざまな人が携わってきた。まずは、表紙を飾ったレジェンドたちのヘアスタイルを掲載しよう。カメラマンはすべて辻丸純一さん。

1980～ Hair Design

1981～ Hair Design



石渡 潔さん



トニー・リッツオさん



堀部 美行さん



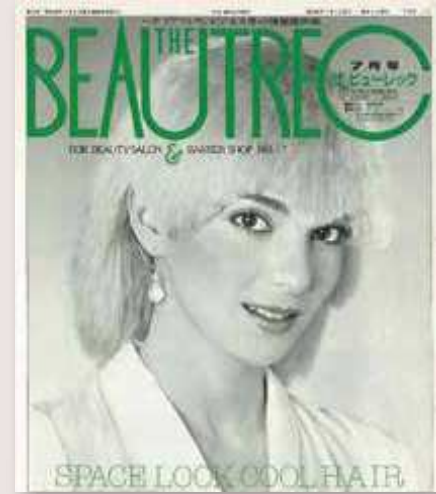
新井 紳ノ丈さん



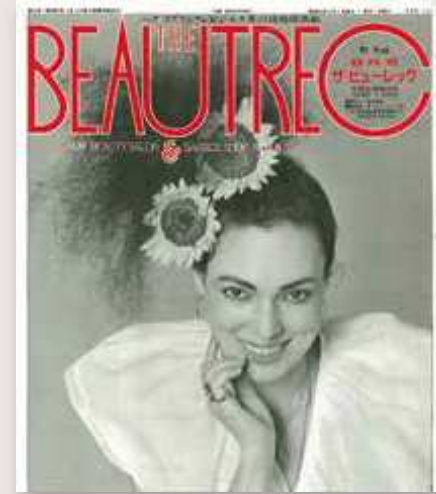
萩原 宗さん



信竜 淳二さん



ケネス・ヒスミさん



谷口 光正さん



表紙のヘアデザインは荒井康友さん

1980年3月に創刊！

トレンドから経営情報までを掲載

ザ・ビューレックが創刊したのは、バブル景気に向け経済成長する1980年3月。ファッションも美容も流行の最先端は海外にあり、多くの美容技術者は海外に憧れを抱きながらも、誰もがひと花咲かそうと勢いがあつた時代ではないだろうか。上部でも紹介したように、本紙の表紙では美容業界のレジェンドたちが登場し、全国の理美容師に刺激を与えていた。くわえて、情報が貴重だった時代。そのため、創刊号のトップ記事はバリコレの春夏コレクションが速報され、続いて業界メーカーの代表者が今年度の抱負を語っている。他にも、ヘアデザイン解説やエステティック解説、節税コラムなど多彩な記事が並ぶ。カルチャーコラムでは、原宿を「ヤングファッションの中心地」と紹介。当時は、1978年にラフォーレ原宿がオープンし、原宿セントラルアパートも健在で、原宿カルチャーが花開く時期だったこともうかがえる。



日本ヘアデザイン協会「80春夏ニューヘアモード」。テーマは「サクセス」

時代を映すヘアスタイル

サロンワークの直結するヘア解説

トップスタイリストたちが表紙を華々しく飾るなか、スタイル解説も中ページで紹介している。下左は田谷哲哉さんのスタイル解説。田谷さんが経営に専念する2年前の1981年10月の作品から、ソフトカールによるリーゼントスタイルを披露。中央は、萩原宗さんによる「秋のオフィス・ヘア」。女性が社会で活躍をはじめた80年代らしいテーマ。右は、今井英夫さんによるラウンド・グラデーションカット。サーファーカットの次のステージとして紹介されており、まさにカット&ブローが全盛だった80年代を象徴するスタイルだ。



エステ技術も紹介

エステティックの情報が掲載されていたのも本紙の特徴。下は、「エステジュール洗顔法」を解説したページ。



1980年代の売れ筋アイテム

80年代のカタログに多くのページを割いて紹介されていた商品をPick Up!



アフロのウィッグ「カーリー・ウィッグ」は、有名女優も出演するTVCMが流れる人気商品。



パーマ全盛でシャンプーをする頻度も今より少なかった80年代は、ヘアネットが必需品。



お釜タイプのドライヤーも全盛だった80年代。ドライヤー椅子のデザインも豊富だった。



情報がアナログだった80年代。カルテボックスも大きく、写真のようなサイズが重宝された。



「タキガワビデオライブラリー」では海外情報、ヘアショー、セミナーの様子が収録されていた。写真は、「トニー&ガイ」のビデオテープで、トニー&ガイのデザイン提案を解説したもの。



現行品

スライヴのマッサージ機は、主に理容室で使われており、上2点が1980年当時の機器。左が現行品「スライヴ MD-7300 アクセルパイプ」。



健康器具も!

70年代から始まった健康志向で健康機器も爆発的ブームに。